

このたびは、インテリジェントコントロールパネルICP1をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。お買い上げいただいた製品について詳しくは、『DME64N/24N取扱説明書』または『DME Designer取扱説明書』をご覧ください。取り付けや使用の前には、本書の「安全上のご注意」を必ずお読みください。



ICP1の取り付けは、お買い上げの販売店、または本書に記載されているヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。

## ■ パッケージの内容(最初にお確かめください)

- ICP1取扱説明書(本書)
- コントロールパネル本体
- ICP1用フレームプレート
- ACアダプター(PA-300Cまたはヤマハ推奨の同等品)

- ICP1アダプターBOX
- 保証書

## ■ 取り付け手順

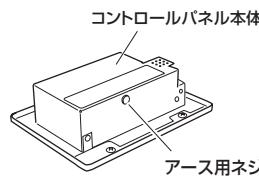
### 接続

#### ① コントロールパネル本体とICP1アダプターBOXを接続します。

接続はストレートケーブルを使用してください。

- 必ず実行**
- コントロールパネル本体とアダプターBOXを接続するケーブルの長さは100m以下にしてください。コントロールパネル本体とアダプターBOXは、スイッチングハブを経由しないで直接接続してください。
  - 安全にお使いいただくため、アース用ネジで本体のアースを確実にとってください。

**禁止** ICP1本体とアダプターBOXの接続に、クロスケーブルを使用しないでください。ジョイントコネクター、クロス変換キットなどの延長コネクターは使用しないでください。



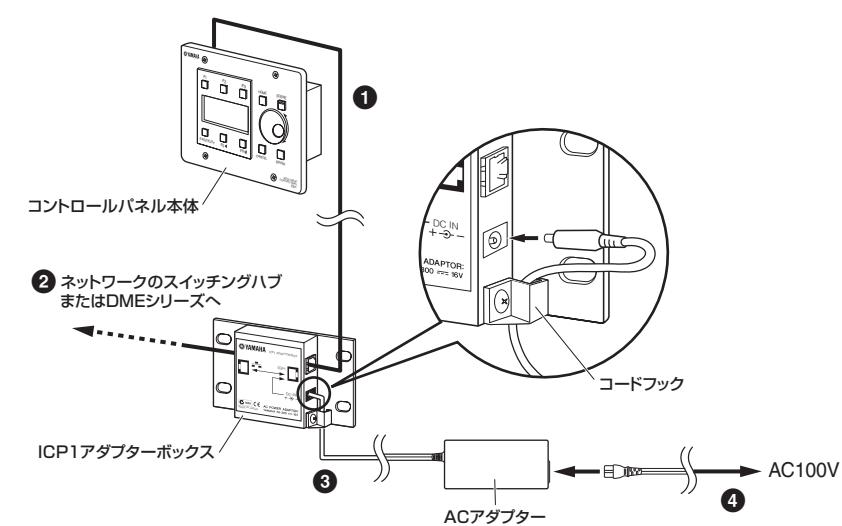
#### ② アダプターBOXをネットワークのスイッチングハブまたはDMEシリーズに接続します。

スイッチングハブに接続する場合はストレートケーブル、DMEシリーズに接続する場合はクロスケーブルを使用してください。

- NOTE** • 使用するハブは100Base-TX/10Base-T対応スイッチングハブをおすすめします。
- 使用可能なケーブルの長さは、最長100mです。ただし、使用するケーブルの種類やスイッチングハブなどにより、この長さを保証できない場合もあります。ジョイントコネクター、クロス変換キットなどの延長コネクターを使用した場合も、使用可能な長さは短くなります。
  - 電磁干渉防止のためには、STPケーブル(シールド付きツイストペアケーブル)をお使いください。

#### ③ アダプターBOXにACアダプターを接続します。

#### ④ ACアダプターをコンセント(家庭用AC100V)に接続します。



### コントロールパネル本体とフレームプレートの取り付け

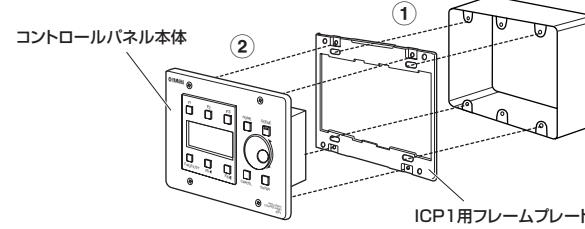
**NOTE** 取り付けは、ACアダプターのプラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

#### ① フレームプレートをボックスにネジで止めます。

- NOTE** • ボックスは付属していません。使用するボックスは、深さが44mm以上のものをお使いください。
- フレームプレートを取り付けるネジの出っ張りは、3mm以下になるようにしてください。

#### ② コントロールパネル本体をフレームプレートにネジで止めます。

- NOTE** コントロールパネル本体とフレームプレート取り付けネジは1.5Nm以下のトルクで締め付けてください。

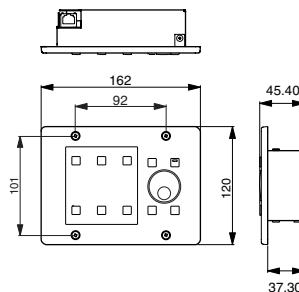


## ■ 操作方法

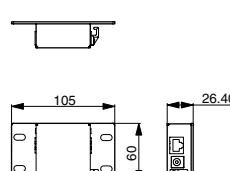
ICP1の操作方法は『DME64N/24N取扱説明書』または『DME Designer取扱説明書』でご覧ください。

## ■ 仕様

### コントロールパネル本体



### アダプターBOX



### Ethernet Terminals

(100Base-TX/10Base-T Ethernet, RJ-45)  
(Adaptor box Ethernet)

Pin	Connection
1	TxD+
2	TxD-
3	RxD+
4	Unused
5	Unused
6	RxD-
7	Unused
8	Unused

### Ethernet Terminals

(100Base-TX/10Base-T Ethernet, RJ-45)  
(Control panel to adaptor box connection)

Pin	Connection
1	TxD+
2	TxD-
3	RxD+
4	+16V
5	+16V
6	RxD-
7	GND
8	GND

### Straight/Cross Cable Wiring Details

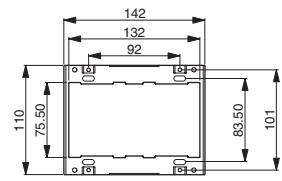
本体とアダプターBOX間のストレートケーブルは、すべてのピンを使用します。

#### Straight

Pins
1 — 1
2 — 2
3 — 3
4 — 4
5 — 5
6 — 6
7 — 7
8 — 8

Pins
1 — 3
2 — 6
3 — 1
4 — 4
5 — 5
6 — 2
7 — 7
8 — 8

### フレームプレート



### CONTROL I/O CHARACTERISTICS

Terminal	Format	Connector
Ethernet	100Base-TX/10Base-TX	RJ45

### OTHER CHARACTERISTICS

Net Weight	1kg

Parameter	Conditions	Range
Temperature range	Operating temperature range	10 ~ 35°C
	Storage temperature range	-20 ~ 60°C

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

# 安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## ■記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	~しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

## ■「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

### ⚠ 警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

### ⚠ 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

## ⚠ 警告

### 電源 / 電源コード

電源は必ず交流100Vを使用する。  
エアコンの電源など交流200Vのものがあります。  
誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

電源アダプターは、必ず付属のもの(PA-300Cまたはヤマハ推奨の同等品)を使用する。  
故障、発熱、火災などの原因になります。

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、  
無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源  
コードに重いものをのせない。  
電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

### 分解禁止

この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。  
感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。

### 水に注意

浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。  
感電や火災、または故障の原因になります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電のおそれがあります。

### 異常に気づいたら

電源コードやプラグがいたんだ場合、または使用中に異常ににおいや煙が出たりした場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜く。  
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

この機器や電源アダプターを落とすなどして破損した場合は、すぐに切り、電源プラグをコンセントから抜く。  
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

## 電源 / 電源コード

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。  
感電や火災、故障の原因になることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。  
電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

電源アダプターは、布や布団で包んだりしない。  
熱がこもってケースが変形し、火災の原因になることがあります。

### 設置

取り付け工事は、必ずお買い上げの販売店に依頼する。また、取り付ける場合は、以下の点に注意する。  
・継続して振動があるような場所は避ける  
・必ず指定された取り付け工具を使用する  
取り付けたあとは、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに定期的な点検をご依頼ください。

この機器を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。  
コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない。  
故障の原因になります。

直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところでは使用しない。  
この機器のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。

テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。  
テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。

### ■ ヤマハ修理ご相談センター (修理受付および修理品お持込み窓口)

◆ 修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～19:00、土曜日 9:00～17:30(祝日およびセンター指定休日を除く)

ナビダイヤル (全国共通番号) 0570-012-808  
ナビダイヤル® \*一般電話、公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

(携帯電話、PHS、IP電話からは TEL 053-460-4830)  
FAX 053-463-1127

◆ 修理品お持込み窓口

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:45(祝日および弊社休業日を除く)

\* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

北海道サービスステーション

〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50  
ヤマハセンター内  
FAX 011-512-6109

首都圏サービスセンター

〒143-0008 東京都大田区平和島2丁目1-1  
京浜トックターミナル内14号棟A-5F  
FAX 03-5762-2125

名古屋サービスセンター

〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2  
ヤマハ(株)名古屋倉庫3F  
FAX 052-652-0043

大阪サービスセンター

〒564-0052 吹田市広葉町10-28  
オーク坂ビルディング2F  
FAX 06-6330-5535

九州サービスステーション

〒812-8508  
福岡市博多区博多駅前2丁目11-4  
FAX 092-472-2137

### ■ 営業窓口

PA事業部 マーケティング部  
CA国内マーケティンググループ  
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町41-12  
日本橋第二ビル  
TEL 03-5652-3851

PA事業部 マーケティング部 PAマーケティンググループ  
〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト:  
<http://proaudio.yamaha.co.jp/>

ヤマハマニュアルライブラリー:  
<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

お客様ご相談窓口:  
ヤマハプロオーディオ製品に対するお問合せ窓口  
ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター  
TEL: 03-5791-7678 FAX: 03-5488-6663  
(電話受付=祝祭日を除く月～金/11:00～19:00)  
ONLINE support: <http://proaudio.yamaha.co.jp/>

\*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。